

# 平成31年度 学士・修士5年一貫教育プログラム 募集要項

◆概要：本プログラムは、成績優秀、且つ、向学心が旺盛であり、早期に大学院博士前期課程の修了を希望する学生のためのプログラムです。学部4年次で、大学院博士前期課程の履修科目を一部、先行履修し、大学院1年次に1年間での早期修了・修士の学位取得をめざすものです。

## 1. 募集研究科・専攻・募集定員

研究科	専攻	課程	募集定員
工学研究科	情報システム工学専攻 生命情報工学専攻 環境共生工学専攻	博士前期課程	若干名

## 2. 先行履修：申請資格

本学理工学部情報システム工学科・共生創造理工学科に在籍する者で、下記のすべての要件に該当することが見込まれる者。

- (1) 平成31年3月において、大学在学期間が3年間（休学期間を除く）に達する者。
- (2) 学部3年次終了時に3年次までの必修科目（共生創造理工学科にあつては領域選択必修科目を含む）をすべて含む110単位以上を修得する者（卒業要件124単位）。
- (3) 学部4年次科目の演習Ⅰ・Ⅱおよび卒業研究Ⅰ・Ⅱを履修する者。
- (4) 学部3年次終了時に、通算GPA4.0以上の者。
- (5) 申請時において、TOEIC 500点以上を修得している者。

※プログラム申請時に指導教員と研究内容について、事前に相談しておくこと。

### 2-1. 申請について

- (1) 申請期間 平成31年2月14日（木）～21日（木）までの窓口受付時間内とする。
- (2) 申請場所 理工学部教務課大学院入試係
- (3) 申請書類 工学研究科ホームページ「入試情報」からプリントアウトすること。

### 2-2. 選考方法

書類審査

### 2-3. 先行履修：許可者発表

平成31年3月1日（金）

### 2-4. 4年次の履修について

- (1) 原則として、修士論文指導予定教員が担当する演習Ⅰ・Ⅱおよび卒業研究Ⅰ・Ⅱを履修すること。
- (2) 学部4年次の第1および第2セメスターに、通年で博士前期課程選択科目5科目（10単位）以上の履修を認める。履修科目は進学予定専攻の講義科目であること（但し、大学院入学後の単位認定は、5科目（10単位）が上限）。

(3) 先行履修科目登録期間 平成31年4月初旬の前期履修登録期間

(4) 登録場所 理工学部教務課大学院入試係

※ 履修方法については、別途、お知らせします。

### 3. 特別選抜入試：出願資格

本学理工学部情報システム工学科・共生創造理工学科に在籍する者で、下記の要件に該当する者。

(1) 本学理工学部学生（外国人学生を含む）で、平成32年3月卒業見込の者。

(2) 5年一貫教育プログラムの認定者（先行履修許可者）である者。

※ プログラムの認定者が、4年次に休学した場合には、復学後もその資格は留保される。

[注意事項]

出願前に、指導を希望する教員に博士前期課程の研究・教育等について必ず相談すること。

#### 3-1. 出願について

(1) 出願期間 平成31年4月下旬～5月上旬の窓口受付時間内（10：00～17：00）までとします。

※正式な出願日程は、平成32年度学内選考・推薦試験出願期間に準じます。

(2) 出願場所 理工学部教務課大学院入試係

(3) 出願書類 工学研究科ホームページ「入試情報」からプリントアウトすること。

#### 3-2. 試験日・会場

平成31年5月中旬 ※平成32年度学内選考・推薦試験と同日に実施します。

受験者は、各試験開始15分前までに試験会場（本学理工学部棟校舎）に集合してください。

口述試験の時間は、試験日の1週間前に、理工学部教務課大学院掲示板にお知らせします。

（注：試験会場は、当日、理工学部棟正面ロビーに掲示します）

#### 3-3. 選考方法

口述試験（志望動機、修士論文計画など）

#### 3-4. 試験科目・時間

試 験 科 目	試験時間
口述試験	15:00～※

※ 口述試験開始時間は変更することがあります。試験日1週間前に理工学部教務課大学院掲示板を必ず確認してください。なお、受験票送付を希望された方には、受験票送付の際に時間帯の連絡も致します。

#### 3-5. 合格発表

平成31年5月下旬 ※平成32年度学内選考・推薦試験と同日に実施します。

(1) 合格者は、工学研究科掲示板に発表します。合格者には、発表日当日、理工学部教務課窓口において合格通知書と入学手続書類を交付します。なお、合格者で当日これらの書類の交付を受けなかった者には、翌日、郵送します。

(2) 合否に関する電話・郵便での問い合わせには一切応じません。

### 3-6. プログラムの認定取消について

次の各号のいずれかに該当する者は、プログラムの認定を取り消します。

- (1) 学部4年次に、卒業研究Ⅰ・Ⅱを修得出来ない者
- (2) 博士前期課程選択科目5科目(10単位)を先行修得出来ない者。  
※ 大学院の入学許可は取り消しません。(通常に進学した大学院生と同等の扱いとなる)。
- (3) 平成32年3月末日に卒業出来ない者(休学した場合を除く)。

### 4. 入学手続について

入学金、学費等諸納付金の金額、支払期日、注意事項については、工学研究科ホームページ「入試情報」を参照して下さい。

入学手続書類は、平成32年2月下旬に郵送します。未着の場合は、必ず理工学部教務課に問い合わせてください。

手続期間 平成32年2月下旬

提出先：理工学部事務室教務課

○ 入学時に提出していただく書類

- ①学籍簿・学生カード ②学生登録カード ③学生証作成台帳 ④住民票

### 出願のための提出書類・受験料 <博士前期課程>

書類の種類		提出に際しての注意事項	
		※ 所定の用紙は本願書に添付されています。記入は、太線内のみ記入してください。	
		先行履修申請	特別選抜入試
1	先行履修申請願	本学所定の用紙を使用すること。	
2	入学願書		本学所定の用紙[A票]を使用すること。
3	志望理由 および 研究計画書	本学所定の用紙[B票(前期課程)]を使用すること。入学後に行いたい研究についてなるべく詳しく記述すること。ワープロ出力可。	【先行履修申請から変更がある場合】 本学所定の用紙[B票(前期課程)]を使用すること。入学後に行いたい研究についてなるべく詳しく記述すること。ワープロ出力可。
4	調査書 成績証明書	成績証明書および、TOEICの成績証明書類を提出すること。	成績・卒業見込証明書を提出すること。
5	指導教員受入承諾書	本学所定の用紙[F票]を使用すること。	
6	受験票・写真カード		本学所定の用紙[I票]，[J票]を使用すること。
7	検定料		33,000円。振込用紙[K票]を使用し、銀行で振り込むこと。振込後、振込金受領書[控]を出願時に提出すること。
8	受験票送付用封筒		受験票送付用封筒を用意し、受験票を送付する住所・名前を正確に記入すること。362円の切手を貼ること。封筒の左下に「受験票在中」と記入すること。ただし窓口で出願、受取りを希望する場合は、受験票送付封筒を提出しなくてよい。
9	合格通知書送付用 宛名票		本学所定の用紙[L票]を使用すること。

[注意事項]

- 1) 郵送による出願の提出先は、〒192-8577 八王子市丹木町 1-236 創価大学理工学部教務課大学院係 宛
- 2) 郵送による出願の場合、封筒左下に「工学研究科入学願書在中」と記入し、必ず書留、速達で郵送してください。
- 3) 出願期限日消印有効。
- 4) 出願書類の不足または不備のある場合は、受付できませんので必ず確認してから提出してください。
- 5) 一度提出した書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- 6) 一度振り込んだ検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

## 学費一覧 <博士前期課程>

<本学出身者> ※標記の学費一覧は、平成 30 年度の金額です。

項目	1 回払	2 回 払	
		入学手続時	後期納入時
入 学 金	100,000	100,000	0
授 業 料	550,000	275,000	275,000
在 籍 料	60,000	30,000	30,000
教 育 充 実 費	150,000	75,000	75,000
実 習 費	100,000	50,000	50,000
合 計	960,000	530,000	430,000

### 入学手続

合格者は、所定の期間内に入学手続・納入をしてください。詳細については、合格発表の際に文書で通知します。

1. 手続期間内に、支払手続をしない場合は、合格を取り消します。
2. 納付金は、手続期間内に必ず完納して下さい。納入回数は、1 回払（前期・後期セメスター分一括納入）か、2 回払（前期・後期セメスター分分割納入）が選択できます。ただし、入学金については、1 回払となっています。
3. 手続後、事情により入学を辞退した場合は、入学金を除く学費等諸納付金を返還します。ただし、入学式の前日までに届け出があった場合に限りです。

(1) 第 1 次入学手続（入学金の納入）

第 1 次手続期間（入学金納入期間）：平成 31 年 10 月中旬

入学金納入額：100,000 円

(2) 第 2 次入学手続（学費等の納入及び入学手続書類の提出）

第 2 次手続書類は、第 1 次手続完了者に対して、2 月に郵送します。

第 2 次手続期間：平成 32 年 2 月中旬～下旬